

月刊誌

# 数理科学

毎月20日発売

7月号  
6月20日発売

## 数理に現れる双対性

— 双対的思考法によるアプローチ —

双対性の歩き方—加藤晃史／線形代数から入門する双対性—小林正典／ガロア理論における双対性—三枝洋一／トポロジーにおける双対定理—逆井卓也／群と表現における双対性—梅田亨／圏論における双対性—丸山善宏／量子力学における双対関係—加藤光裕／電磁気学における双対性とその展開—風間洋一／統計力学における双対性—鈴木淳史／素粒子論における双対性—米谷民明

定価1049円

8月号  
7月20日発売

## 不動点の数理

— 動かぬ点の拡がりを追う —

巻頭言—栄伸一郎／乱流現象を捉える不動点たち—坂上貴之／微分方程式・数値解析に現れる不動点定理とその展開—松江要／力学系における不動点—新居俊作／マルコフ連鎖と定常分布—長谷部高広／トポロジーにおける不動点—吉永正彦／数論と不動点—朝倉政典／統計力学と場の量子論におけるくりこみ群—原隆／微積分から学ぶ深層ニューラルネットワークの各点収束構造—米田剛／ゲーム理論における不動点定理—川崎英文

●SGCライブラリ=191

### 量子多体系と機械学習(仮) 深層ボルツマンマシンの物理への応用

野村悠祐・吉岡信行共著 B5・約140頁・予価2100円

●SGCライブラリ=189

### サイバーク-ウィッテン方程式 ホモトピー論的手法を中心に

笹平裕史著 B5・144頁・定価2310円

## レクチャー 力学

本質を理解して物理を使うために

半田利弘著 予価2200円

本書は理工系の学部生を対象とした力学の入門書。「物理学の面白さ」が感じられるよう物理学と日常現象のつながりを示し、その間にどのようなモデル化・近似がなされているかを説明した。身のまわりの事物を題材にした章末問題、図や写真を随所に配置した好個の教科・参考書。

## レシピ de 演習電磁気学

轟木義一著 定価2365円

本書は答えまでの道のりが何ステップもある電磁気学の問題を料理レシピ風に順を追って解けるようになることを目指した演習書。基本的な問題を精選し丁寧に解説した、特に電磁気学が苦手な学生に最適な1冊。

数理工学社 近刊・新刊のご案内 発売：サイエンス社

## 複素関数論の基礎

本多・神保・梅田共著 定価1870円

本書は理工系の学部学生を対象とした複素関数論の入門書。計算例や問題を数多く掲載することで、読者の理解がより深まるように配慮した。わかりやすく丁寧にまとめられた好個の教科・参考書。

## 電磁波工学

大平昌敬著 定価2310円

本書はワイヤレス通信に不可欠な電磁波の伝送や放射を電気・電子系の学生向けに解説。マクスウェルの電磁方程式を出発点として基本的な事項を中心に扱う。理解を深めるため例題や問題を載せ、図を多く配置した好個の教科・参考書。

## 工学のための離散数学 [第2版]

黒澤馨著 定価2310円

刊行以来好評を得てきたテキストの第2版。離散数学の基本からコンピュータサイエンスへの応用まで扱う。また改訂にあたり、最短経路・最大フロー問題や仮想通貨の章を追加。無味乾燥にならぬよう身近な例題から感覚的、視覚的に理解できるよう工夫した教科・参考書。

## 工学基礎最適化とその応用 [第2版]

矢部博著 予価2500円

本書は刊行より好評を得てきたテキストの第2版。改訂にあたって、近年、連続最適化の知識が機械学習の分野でも応用されていることを踏まえ、その紹介を取り入れた。代表的な数値解法に対する図解を載せるとともに具体的な計算例も与えた好個の教科・参考書。

サイエンス社

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷1-3-25 TEL 03-5474-8500 FAX 03-5474-8900  
ホームページで注文ができます。 <https://www.saiensu.co.jp> \*表示価格は全て税込みです。